

1 単元設定の理由

学習対象・学習活動について

- 本単元は小学校学習指導要領生活の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わる活動を行ったりなどする」(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくる」に基づいて設定しており、二つの内容を繋げて扱う。
- 郷原小学校は呉市の北に位置し、周囲を山や田畑に囲まれ、すぐ傍に黒瀬川が流れる自然豊かな地域にある。校門を一步出れば田や畑が広がり、徒歩30分の所には面積17haの自然に囲まれた「グリーンヒル郷原」という公園があり、秋には木々が美しく紅葉し多種類の木の実が採れる。
- 秋は植物や動物が種の保存のために大きく姿を変化させる季節でもある。郷原の恵まれた自然を活用し、「あき」を見付け観察したり集めたり、それを利用して遊んだりすることを通して、季節による生き物の変化や特徴を見付け、自然の様子や違い、季節によって姿が変わることに気付き、自然の不思議さや面白さや偉大さにも気付くことができる。比べたり、仲間分けして考えたりする活動が多く行われ、対象に自分から働きかけながら、思考・判断・表現する活動が期待できる。
- 見付けた物を利用した遊びを工夫する中で、安全やルールを意識することや、遊びを誰かに伝えようと人と関わる中で、自分自身の成長に気付くことができるなど、活動の広がりや深まりが期待でき、さらに郷原地域に愛着をもつことにも適した教材であると考えられる。

児童について

- 本学級の児童は七つの保育所・幼稚園等から入学している。そのほとんどが小学校入学後、車による送迎から自分の足で登校するようになり、登下校時に郷原の自然に触れる機会をもてるようになった。朝の会で、通学路で見付けた生き物の話をしたり、嬉しそうにカタツムリを捕まえて来たりする児童もいるが、アサガオの土に触れることを嫌ったり、虫やカタツムリを怖がる児童もおり、一人一人の体験の多さや興味関心の対象にも個人差が大きい。また、保育所や幼稚園などで秋祭りや芋ほり体験をした園児は多いが、繰り返し秋見付けをするような体験はあまりしていない。
- 生活科の授業に対して100%の児童が「大好き」または「好き」と答えている。授業の始めに、その時間の学習活動が決まったら、全員が「じぶんのめあて」を自分で決めて活動を行うことができる。
- アサガオを育て、カタツムリを飼った経験から、生き物には命があることや、成長し変化することに気付いている児童もいるが、種を保存するための工夫などには気付いていない児童も多い。
- 自分の思いをしっかりと語ることができる児童もいるが、絵や言葉で表現することが苦手な児童もいる。特に文字を書くことが苦手な児童が数名いるので、学習の終末には話し合いで振り返りを行うことが多い。振り返りカードを活用することもあるが、全員が書くためには時間がかかる。

2 研究主題に迫るための手立て

A 心が動く課題の提示

- ① 単元の始めに、2年生に昨年の体験を話してもらい、自分も「秋を見付けたい」「秋の〇〇はかせになりたい」と意欲をもつ出会いを工夫する。児童の願いや思いを実現していく学習構成にする。
- ② 諸感覚を働かせ、全身で郷原の自然と関わる機会を繰り返し設定する。
- ③ 教師がモデルとなり、進んで活動しにくい児童が安心して思いを表現できるように共に楽しむ。

B 思考が深まる発問の工夫

- ① 発問の設定に活かすため、児童の発言や行動を見取り、一人ひとりの考えを把握する。
- ② 児童の思考をゆさぶり、考えが深まる「中心になる発問」を吟味して設定する。
- ③ 発問の意図を明確にし、発問に対する児童の気付きを想定しておく。

C 次へつながる振り返りの工夫

- ① 話し合いでの振り返りや、絵や文章や日記を書くなどの多様な振り返りを行う。
- ② 予想される振り返りの言葉を想定しておき、児童の振り返りをすぐに価値付ける。

3 単元の目標

- 郷原の秋の自然と関わり、それを集めたり観察したり利用して遊んだりする活動を通して、自然の様子を比べたり仲間分けしたり予測したり試したりして考え、季節の変化や相違点、遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、「あきの〇〇はかせ」になれた自分に自信をもつことができるようにする。

4 本単元の評価規準

評価の観点	評価規準	育てようとする資質・能力
(1)生活への 関心・意欲・態度	ア 「あきの〇〇はかせ」になることに意欲をもち、郷原の自然に関心をもって関わったり、自分の気になる物を集めたりしようとしている。 イ 諸感覚を使って秋の動植物等と触れ合い、それらを使った遊びや遊びに使う物を考えようとしている。	進んでやる力
(2)活動や体験に ついで の 思考・表現	ア 見つけた物を比べたり、試したり見立てたりしながら、その中にある共通点や相違点を見つけている。 イ 身近な自然や物の中から遊びを考えたり、遊びの約束やルールなどを考え、楽しく遊べるように工夫したりしている。	考え・決める力
	ウ 自分が気付いたことや調べたことやしたこと、遊びを工夫したり友達と関わって遊んだりしたことを、言葉や絵や文章など自分なりの方法で表し、伝えようとしている。	伝える力
(3)身近な環境や 自分についての 気づき	ア 秋の自然等の特徴や四季の変化に気付いている。 イ 自分なりの見通しをもって、秋の動植物等の探し方や見つけ方に気付いている。 ウ みんなで活動することの楽しさに気付いている。 エ「あきの〇〇はかせ」になれた自分に喜びを感じ、友だちのよさや自分の成長に気付いている。	分かる・できる

5 本単元で育てようとする資質・能力

進んでやる力

- 地域の自然を集めたり観察したり遊んだりすることに意欲をもち、進んで行動することができる。

考え・決める力

- 見つけた物の違いや特徴や変化について、比べたり仲間分けしたりして考えることができる。
- 見つけた秋の物の特徴を生かして、遊びや遊びに使う物を自分なりに考えることができる。

伝える力

- 自分の思いや考えを自分なりの方法で表現したり、他学年に伝えたりすることができる。

分かる・できる

- 秋の自然の特徴や季節の変化に気づき、自然の知恵や郷原の自然のよさが分かる。
- 友達のよさや「あきの〇〇はかせ」になるためにがんばれた自分に自信をもつことができる。

五次（3時間）
みんなをよんで
ごうはらの あきで あそぼう

まとめ・表現

「秋は夏と違って実がなったり葉の色が変わったりする。」
「みんなが喜んで遊んでくれてよかった。」
「郷原の秋ってすてきななあ。」
「〇〇はかせになれてうれしいな。」

課題設定 「ごうはらのたのしいあきを つくろう」

四次（5時間） 〇〇はかせおすすめの
あきのおもちゃを つくろう

課題設定 「みつけたあきで あそぼう」

「2年生にアドバイスをもらっておもちゃやルールを工夫したよ。」

三次（6時間） 本時 3 / 6

〇〇はかせの おすすめはっぴょうかい

課題設定 「みつけたあきを 2年生さんに きいてもらおう」

「生き物にはいろんな知恵があるんだな。」

二次（8時間）

あきを あつめよう

課題設定 「『あきの〇〇はかせ』になろう」

「〇〇はかせになりたいな。」

一次（4時間）

あき みつけた！

課題設定 「あきを さがそう」

「今は夏かな、秋かな？
いろんなところで
秋を探してみよう。」

2年生から昨年の経験を教えてもらう

7 指導計画 (全26時間)

次	月	主な学習活動	時数	評価規準 (評価方法)	教科等との関連
一次 あき みいつけた！ (4)	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題設定 あきを さがそう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生の「〇〇はかせ」から、昨年の学習の経験やアドバイスを教えてもらい、「あきみつけ」への意欲を高める。 ○ 校舎の周りや畑、中学校の近くの森に行き、「あきのたからもの」を見つけてお宝箱に集める。 ○ 見つけた秋を絵や文章で「はっけんカード」に記録し、比べたり分けたりする。 	1 2 1	(1)ア 2年生の話や季節の物に関心を示し、「あきの〇〇はかせ」になることに意欲をもっている。(発言の分析・行動観察) (2)ア 自分が見つけた秋を、比べたり分けたりしようとしている。(カードの分析・発言の分析・行動観察) (2)ウ 自分が気付いたことを言葉や絵や文章など、自分なりの方法で表している。(カードの分析・発言の分析・行動観察)	国語科 「こんなことしたよ」
二次 あきを あつめよう (8)	10	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題設定 『あきの〇〇博士』になろう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見つけた秋の中で特に興味のある物を選び、何はかせになるかを考える。 ○ 学校周辺やグリーンヒル郷原などに行って秋を集めたり、図鑑を使って調べたりする活動を繰り返す。 ○ 集めた「あきのたから物」を分けたり並べたり見せたりして、気付いたことを伝え合う。 	1 6 1	(1)ア 「あきの〇〇はかせ」になることに意欲をもっている。(発言の分析・行動観察) (3)イ 自分の決めた秋を見付けようと探したり集めたりしている。(発言の分析・行動観察) (2)ア 見つけた物を比べている。(行動観察) (2)ア 集めた物を自分なりの基準で分けたり並べたりすることができる。(行動観察) (3)ア 集めた物の特徴や秋の特徴、友達との違いに気付いている。(発言の分析・行動観察)	国語科 「ほんのひろば」
三次 〇〇はかせの おすすめはっぴようかい (6)	11	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題設定 みつけたあきを 2年生さんに きいてもらおう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の集めたものを分けたり調べたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○ 「〇〇はかせ」の集めた「あきのたから物」を伝え合う。(本時1/1)</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた物を整理して、発表の練習をする。 ○ 「〇〇はかせ」のおすすめ発表会を開き、2年生に聞いてもらう。 	2 1 2 1	(3)ア 自分の決めた秋の物を整理し、よさを見付けようとしている。(ワークシートの分析・行動観察) (2)ウ 自分のたから物のよさを伝えている。(発言の分析・行動観察) (3)ア 秋の生き物の知恵や特徴に気付いている。(生活科日記・発言の分析) (3)ア 秋の自然の特徴に気付いている。(発言や日記の分析・行動観察) (3)エ 友だちのよさや自分との違いに気付いている。(振り返りの記述・発表内容・表情観察)	算数科 「おおきさくらべ・ながさくらべ」 「100までのかずのけいさん」 「いろいろなかたち」 国語科 「わたしのはっけん」

<p>四次 あきのおもちゃをつくらう (5)</p>	<p>11</p>	<p>課題設定 みつけたあきで あそぼう</p> <p>○ 見つけた秋のできる遊びを考え、やってみる。</p> <p>○ 友達の考えた遊びをやってみる。</p> <p>○ もっと楽しくするために、おもちゃを改良したり遊び方を工夫したりする。</p> <p>○ 作ったおもちゃで2年生と一緒に遊び、アドバイスをもらう。</p>	<p>1 1 2 1</p>	<p>(1)イ 諸感覚を使って、秋の動植物等と触れ合い、それらを使った遊びを考えようとしている。(行動観察)</p> <p>(2)イ 遊びを考えたり、楽しく遊べるように工夫したりしている。(発言の分析・行動観察)</p> <p>(2)ア 比べたり、試したりしながら、おもちゃを改良している。(行動観察・日記の分析)</p> <p>(2)イ 遊びの約束やルールなどを考え、楽しく遊べるように工夫している。(発言の分析・行動観察・ワークシートの分析)</p>	<p>図画工作科 「しぜんとなかよし」</p>
<p>五次 みんなをよんで ごうはらのあきで あそぼう (3)</p>	<p>11</p>	<p>課題設定 ごうはらのあきを みんなに してもらおう</p> <p>○ 郷原の秋をみんなに知ってもらうために、「ごうはらしょう あきのおもちゃまつり」の計画を立てる。</p> <p>○ 「ごうはらしょう あきのおもちゃまつり」の準備をする。</p> <p>○ お客さま(2年生・6年生)を招待しておもちゃで遊んでもらう。</p> <p>時間外で、振り返りをする。(国語科・日記)</p>	<p>1 1 1</p>	<p>(1)イ おもちゃまつりの計画を立て、遊びに使う物を考えようとしている。(日記・行動観察)</p> <p>(2)イ どんなことをしたらみんなが楽しめるかを考え、工夫している。(ワークシートの分析・発言の分析)</p> <p>(3)ウ みんなで活動することの楽しさに気付いている。(発言の分析・表情観察)</p> <p>(2)ウ 自分が気付いたことや調べたことやしたことを、絵や文章などで表している。(発表するために使った物の分析・発言の分析)</p> <p>(2)ウ 秋のおもちゃの楽しさや遊び方を、お客様に伝えることができる。(発表)</p> <p>(3)エ 「あきの〇〇はかせ」になれた自分に喜びを感じ、友だちのよさや自分の成長に気付いている。(振り返りの記述・発表内容・表情観察)</p> <p>(3)ア 秋の自然の特徴や変化に気付くことができる。(日記の分析)</p>	<p>学級活動 「ごうはらしょうあきまつりのけいかくをたてよう」</p> <p>図画工作科「しぜんとなかよし」</p> <p>生活科 「きれいにさいてね」</p> <p>国語科 「はなしたいなききたいな」</p>

8 本時の展開 (本時15/26時間)

(1) 本時の目標

- 「あきのたからもの」を紹介し合い、見たり比べたりする活動を通して、秋の生き物の特徴や知恵に気付くことができる。

記号については、以下の通りである。

人・物・こととの関わり (☆), 指導上の留意点 (◇), 「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て (○), 教師の発問 (【意図】), 研究にかかわる手立て (□内), 評価規準 (◆)

(2) 学習の展開

学習過程	学習活動と児童の姿	教師の役割
前時まで	<p>0 自分の興味のある物を「あきのたからばこ」に集めており、それを一度分けたり並べたりしている。それを基に、「おすすめ」カードを書いている。</p> <p>【児童がなりたいたいとおもっているはかせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりはかせ ・ひつつくしよくぶつはかせ ・みはかせ ・はっぱはかせ ・花はかせ ・くさはかせ ・しよくぶつはかせ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 本時までには児童がどこでどのような活動をしてきたか、何博士になりたいという願いをもっているか、どのような物を「あきの宝箱」に集めているかを個別に把握しておく。 ◇ 「しらべるコーナー」(虫眼鏡や解剖顕微鏡、標本や図鑑などの本を置いたコーナー)と、「せいとんコーナー」(卵パックやケース、カップやラベルやペン、紙や袋などを置いたコーナー)を教室の一角に作っておき、児童が自由に使用できるようにしておく。 <p>☆物との関わり「調べる」</p>
であう	<p>1 前回の学習を想起し、「はかせへのみち」を確かめ、「教える」活動への意欲をもつ。</p> <p>秋の宝物が増えたね。これは 何はかせの「おすすめカード」か分かるかな。</p> <p>【見付ける】</p> <p>どんぐりはかせです。ぼうしが上手にかけている。</p> <p>☆見本を見て「考える」</p> <p>いろんな向きから かいているのがいいね。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>はかせの「おすすめ」をきいて、あきのひみつをみつけよう。</p>	<p>手立てA 心が動く課題の提示</p> <p>写真と実物で前回の活動を想起しやすくする。「はかせへのみち」を示し、本時の活動への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 昨年の1年生の「実はかせ」のカードを見せ、活動への意欲をもたせる。 ◇ 教材提示装置で拡大し、全員で考えを共有することができるようにする。
かかわる	<p>3 教え合う時のルールを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す時・聞く時のルール ・触りたいと思った時のルール ・その宝物がすごいと思ったらシールを貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 活動のルールを掲示しておき、確認しやすくする。 ◇ 番号を書いた「すごいな」シールを用意する。 ◇ 宝物その物に注目させる。(話し方)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">か か わ る</p>	<p>4 「たから物」を個別に紹介し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">この葉はサトウカエドといいます。カナダの国旗になっているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">サトウならあまいの？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">このたねはトンボの羽根が付いたような形をしています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">すごいね。空を跳ぶんですか？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; width: fit-content;">☆おすすめを「話す・聞く」「答える」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; width: fit-content;">☆質問を「考える」「話す」</div> <p>5 自分の「おすすめの宝物」のすごいところをみんなに紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ぼくのドングリは大きくて、先つちよから芽が出ています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">この実は切ったら中に種が入っていました。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; width: fit-content;">☆自分のおすすめのよさを「伝える」「考える」</div> <p>6 秋の生き物の特徴や知恵について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 交流しやすいように机を合わせ、中央に広いスペースを作っておく。 ◇ 座席表を活用し、児童の会話を記録する。 ○ 教師と練習をして自信をもたせる。 ◆ 自分の「おすすめの宝物」のよさを伝えている。(発言の分析・行動観察) ◇ 同じ物を集めている「はかせ」ごとに集まってグループを作り、自分の集めた物と比べ易くする。 ◇ 机間指導で子供の気付きを認め、自信をもたせる。 ◇ 児童を中央に集め、交流しやすくする。 ○ 傍に座って安心させる。 ◇ 紹介した「おすすめ」を教材提示装置で示し、確かめたり、考えたりしやすくする。
	<p style="text-align: center;">どうしてセンダングサはひつつくのかな。(どうしてクロマツの種には羽があるのかな。) 【関係付ける】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">とがっているから。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">先が引っかけるかたちだから。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">だれかにひっついてそこで落ちて芽を出して仲間を増やす。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">羽根で遠くまでとぶため。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">風が吹いたら風に乗ってタンポポみたいに空を飛んでいけるから。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; width: fit-content;">☆種の形から植物の知恵について「考える」</div>	<p>手立てB 思考が深まる発問の工夫</p> <p>集まった「おすすめの物」の中から、植物の種の形に着目させ、植物には種の保存のために、種を遠くに移動させる様々な工夫があることについて考えさせる。気付きを想定し児童の発言を価値付ける。 イロハカエド・タンポポ・ススキ(風) ドングリ(重力) カキ・イノコヅチ・オナモミ・ドングリ(動物)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ふ り か え る</p>	<p>7 振り返りとしての話合いをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「すごい」をたくさん見つけた。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">たねのひみつが分かった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ドキドキしたけどがんばった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まだ、もっと集めに行きたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; width: fit-content;">☆学習を振り返って「考える」「話す」</div> <p>8 あきの深まりについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">「あきのものさし」は どこをさすかな。 【視点の移動】</div>	<p>手立てC 次へつなげる振り返りの工夫</p> <p>児童がどのような振り返りをするかを、想定しておき、価値付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 秋の生き物の知恵や特徴に気付いている。(生活科日記・発言の分析) ◇ 児童の発言からどのような力が付いたかを評価し、全体で共有する。 ◇ あきの深まりを示す掲示物から、秋の特徴について子供の言葉でまとめる。

9 振り返り想定表

育てようとする 資質・能力	予想される振り返り
進んでやる力	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの人の「おすすめ」をもっと見たいです。 ・マツボックリはどこに種があるのか調べたいです。 ・もう一回秋見付けに行きたいです。 ・たくさん人がいてドキドキしたけど発表ができたので、よかったです。
考え・決める力	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇はかせの中で比べたらB君が一番集めていてびっくりしました。 ・CさんのおすすめとDさんのおすすめが同じでした。 ・ドングリはたくさん形や大きさがあって、葉っぱの形も違うと思いました。 ・ひつつく実は仲間を増やすために、考えているんだと思いました。
伝える力	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のおすすめのひみつをみんなに話すことができました。 ・ぼくは、いっぱい質問ができたし、答えることができてよかったです。 ・Eさんのおすすめの宝物がとてもいいなと思いました。
分かる・できる	<ul style="list-style-type: none"> ・種はすごいひみつをもっていることが分かりました。 ・種はいろんなやり方で仲間を増やすことがと分かりました。 ・僕の種は空を飛んで遠くに行つて仲間を増やすために羽根があると思います。 ・みんながたくさん集めていてすごいと思いました。 ・実の中には種があることが分かりました。 ・秋になったらいろんなものに実がなることが分かりました。